

# ジュゴン Vol.69

# ちゃんぶるニュース



2013. 7. 23

## CONTENTS



- 2/3 埋立申請の問題点
  - 反対の声を広げるのは、今でしょ！
  - 4/5 じゅごんの里ツアーレポート
  - 第1回ジュゴン連続講座報告
  - 6/7 フィリピンレポート—その3
  - おきなわ便り
  - 8 お知らせ

「長い病院生活で外の世界を経験できない子ども達にジュゴンのお話をしてください」という依頼があり、6月19日に、大阪立総合医療センターの院内学級にお話に行ってきました。依頼主は、“あそぼっこる”ー入院中の子ども達にあそびを届けるボランティアグループです。

点滴台をひっぱりながら、あるいは車イスで…、幼児から高校生までの子どもたちがどんどん教室に入ってきた。子どもたちはジュゴンに興味津々。「わ～、おっさい！」と実物大ジュゴンのバナーを見て、びっくりする子、「かわいい♥」とマスコットを抱きしめる子…。みんなジュゴンのことを大好きになってくれました。沖縄の現状を聞いて、「どうして沖縄には、そんなにたくさん基地があるの？」と質問する子もいました。小さい子には、ちょっと難しい話もありましたが、「沖縄・うみさんぽ」という、辺野古・大浦湾の海の生きものたちの映像には、みんな釘づけに！生きものの持つ魅力、~~癒~~しの力を感じました。



# 出張授業は未知への扉

これまで、SDCCは保育園（6面、ぶどうの木保育園参照）、中学校、高校、大学などに出張授業に出かけています。修学旅行の事前学習としてお話をした中・高校生たちは、これから訪れる沖縄の、基地の様子、自然の素晴らしさに興味を膨らませ、修学旅行への期待感を高めてくれました。大学生たちは、歴史・国際関係の中での沖縄・日本についての考察を深めたり、環境保護から基地問題を考えるという視点に新鮮さを感じたりしてくれました。

院内学級では、外に出られなくても精一杯生きている子どもたち、保護者の方、サポートスタッフの方々と出会いましたが、どこでかけても、普段の生活の中では、出来ない貴重な体験をさせてもらいます。出張授業は私にとって宝の山、いえ未知への扉と言えます。これからも、一所懸命お話ししますので、ぜひ呼んでください。  
(関西 山根富貴子)

※現在のところ、出張授業は関西圏でのみ行っています。詳細は関西事務所にお問い合わせください。

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



沖縄県海岸防災課への意見書提出（2面）



カヌーで近づく天仁屋の雄大な褶曲（4・5面）

## 情勢

## ～辺野古埋め立て申請～

## 「埋め立て反対署名を広げるのは、今でしょう」



## &lt;告示縦覧が行われました&gt;

6月28日から7月18日まで辺野古沖の埋め立て申請の告示縦覧が行われました。沖縄防衛局が土地調査結果表（有害物質の分析結果表）を提出していないにもかかわらず、沖縄県は形式審査を終えて告示縦覧を行いました。公有水面埋立法の違反です。沖縄県は私たちの要求で、埋め立て申請書をウェブサイトにアップしました。これで、本土から多くの意見を出すことができました。

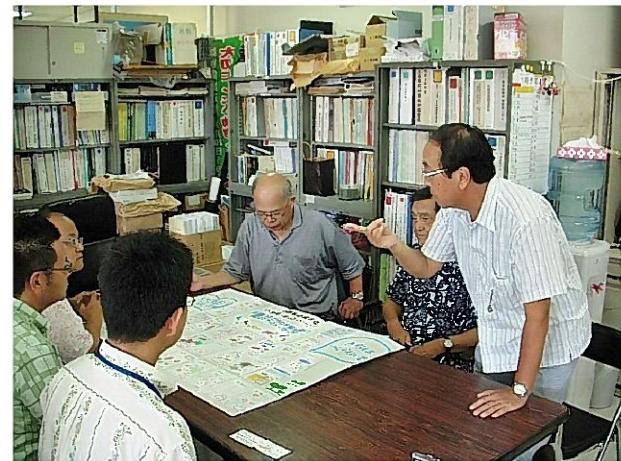
## &lt;土地調達計画の破たん&gt;

「告示縦覧で出された意見を地元名護市に送る」ことを沖縄県交渉で確認しています。合理的な意見は埋め立て申請を承認するか否かの判断材料になります。地元名護市長の意見や環境部局との議論をふまえて、申請内容を承認するか否か内容審査が行われます。沖縄県は私たちに「土砂の調達計画が実態に合っているか否かを内容審査する」と言わざるを得ませんでした。沖縄防衛局の土地調達計画の破綻は明らかです。最初に活

用するとしている辺野古ダム周辺地とキャンプシュワブから採取する各200万m<sup>3</sup>の採取はめどが立っていません。名護市は沖縄防衛局に、琉球王朝の街道遺跡や貝塚時代の遺跡など文化財保護の協議を求めています。キャンプシュワブ内の名護市有地や辺野古ダム周辺の治水対策についても異議を唱えています。また、業者購入の土砂 約1700万m<sup>3</sup>のめども立っていません。あくまで予定地であって、不足分を見越して海外からの購入すら検討しています。

## &lt;埋め立て反対の声を大きく&gt;

8月初めにも市民の意見が送付されて、名護市長の意見聴取（4か月間）が始まります。名護市は別に、広く市民から埋め立てについて意見を求める考えです。市長意見は市議会決議（定例会）が必要で、9月定例会ではなく、12月定例会での決議になります。沖縄県議会でも仲井真知事のあいまいな態度を質す準備が進められています。本土で辺野古沖の埋め立て反対署名を広げましょう。来年1月名護市長選挙で稻嶺市長の再選を勝ちとりましょう。



7/1 知事室広報課に知事への応援ハガキ125枚を提出。模造紙に貼った、ぶどうの木保育園児のカラフルなハガキ29枚を前に、子どもたちの思いを説明しました。



# 「辺野古沖埋め立て申請の問題点」



7月1日にSDCC意見を県海岸防災課に提出しました。その前段、沖縄防衛局交渉を持ちました。

## 問題点①は「埋め立て土砂の調達計画」が杜撰なことです。

工事着手後にまず必要となる辺野古ダム周辺地とキャンプシュワブからの埋め立て土砂 400 万m<sup>3</sup>のめどが立っていません。当該地の文化財保護や名護市有地について協議が行われていないからです。また、業者購入土砂の調達先は7県9地区15か所とストック量は明示されていますが、あくまで予定地です。工事のピーク時に土砂が不足することを防衛省は認めています。土砂に含まれている有害物質の化学的分析結果表が提出されていません。環境の保全が軽視されています。



## 問題点②は、埋め立て海域や埋め立て土砂採取先の環境保全の検討がなされていません。

沖縄県知事は沖縄防衛局の辺野古アセス評価書では「生活環境、自然環境の保全を図ることは不可能である」と意見を出しています。オスプレイの配備による低周波対策や、ジュゴンの餌場・海草藻場の保全など検討していません。辺野古ダム周辺地 30 ha から土砂 200 万m<sup>3</sup>を採取するには約 10 m の掘り起しになります。地形が大きく変わり、治水対策が必要です。ヤンバルの水がめが破壊される恐れもあります。これらを追求しましたが、沖縄防衛局は頭を搔いて下を向いていました。

(事務局 蟹川義章)

## 辺野古に基地を作るな！

## 公有水面埋め立てを許さない！ 5・26集会＆デモ

5月26日(日) 埋め立て反対の闘いに沖縄と連帯するために、東京千駄ヶ谷区民会館で辺野古実(※)主催の「辺野古に基地を作るな！公有水面埋め立てを許さない！5・26集会＆デモ」が開かれました。会場は120人の参加者でいっぱいでした。集会では沖縄から東恩納琢磨さん(名護市議会議員)から、名護市議会での「公有水面埋め立て申請に抗議する意見書」が採択され政府に提出した経過が報告され、公告総覧の際には、皆さん当事者になって意見書を出して欲しいと訴えられました。



意見書提出を呼びかける東恩納琢磨さん

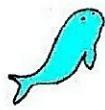
SDCCの蟹川事務局長からは、埋め立て申請書に補正指示した33項目の内容を説明し、意見書を出す事や、埋め立て申請にNOと知事に言ってもらうために世論の後押しが必要であり、県知事への応援はがきを送り、埋め立て反対の闘いを強めようと言えました。

最後に6月6日に行われる「NO！オスプレイ 6・6集会」への参加の呼びかけもありました。

集会後のデモでは、ジュゴンバルーンを先頭に「辺野古に基地はいらない」「埋め立て反対」「オスプレイ配備反対」などとジュプレヒコールをしながら、日曜日で賑やかな原宿、表参道、明治通り、渋谷駅周辺を行進し、沿道の多くの若者や外国人に大いにアピールしました。

(首都圏 矢敷克子)

(※) 辺野古への基地建設を許さない実行委員会



# 第8回じゅごんの里ツアーリポート



今年も好天の中、6月28日～30日の日程でじゅごんの里ツアーリポートを開催しました。初日は名護市公民館で、名護市の埋蔵文化財や天然記念物の褶曲地形についてレクチャーを受け、その後参加者の交流会。2日目はテント村で現在の状況について安次富浩さんからお話を伺いました。もちろん、推進派の攻撃にさらされるノーベースギャラリーにもリボンやバナーを飾ってきました。

午後からは船で大浦湾へ。今年は西海岸の羽地周辺をフィールドにしている屋我地工コツーネットのみなさん

もご一緒に、埋立予定地周辺の多様性豊かな自然を満喫しました。

3日目は、初日にレクチャーを受けた天仁屋の褶曲をカヌーで巡るコースと、ヤンバルの森や文化を巡るコースに分かれました。海から近づき、間近で見る巨大な地層の褶曲は圧巻。これから観光の目玉スポットになること間違い無しです。ヤンバルでは芭蕉布の里で伝統の芭蕉布織りに触れ、悠久の歴史に思いを馳せるひと時を過ごしました。

(関西 海勢頭聖)



1日目、普天間爆音訴訟事務所訪問。宜野湾市議の桃原さんからお話を伺った後、野嵩ゲートへ

辺野古テント村 座り込み3359日目



褶曲は、地層に強い力が加わることでできる大地の「しわ」。壮大な地球の動きを実感しました。



2日目、大浦湾はお天気が良くて最高♪



3日目、カヌーで褶曲見学

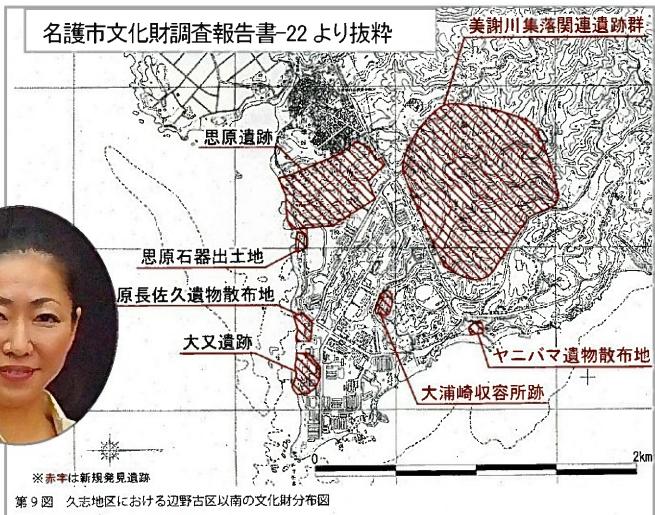


## 名護市教育委員会との交流

28日名護市民会館で、名護市教育委員会より「嘉陽層の褶曲」と「キャンプシュワブの埋蔵文化財」についてレクチャーを受けました。

褶曲とは「大地のしわ」のようなもので、「嘉陽層の褶曲」については、文化財保護法の天然記念物に指定されていて、「地学の教科書に載るような有名な断層」とのことでした。この褶曲は、アルプスの地層帯と同じ時期の古代三紀(3,000~4,000万年前)のもので、生痕化石が見つかっています。今回のツアーリポートでは、30日にカヌーでこの褶曲を見学しました。

キャンプシュワブの埋蔵遺跡は、1956年の接收以前にこの地或に居住していた住民の生活の跡のことです。大浦崎捕虜収容所跡や宿道跡、猪垣跡、耕作地跡土壘跡



など発掘されています。名護市は、平成19年度～23年度にかけて地区ごとに調査を実施しました。現在名護市としては、「現状保存」を国に要求していることです。普天間基地の辺野古移設にともなう新基地建設によって、貴重な遺跡が破壊されてしまう可能性があり、貴重な遺跡を後世に残していく責務も私たちにあると思いました。

(首都圏 三村昭彦)

このツアーで現地を訪れ、地元の方々の話を聞き、交流する事の大切さを知りました。辺野古のテント村で座り込みを続ける人々には、「戦争で土地を奪われ、基地を造らせてしまった。でも貧しい中、生かされてきたこの海まで渡すわけにはいかない！！」という強い決意のあることを知りました。

また、渡具知さん一家は毎週土曜日に米軍基地ゲート前でピースキャンドルを7年以上続けています。一人一人自分のできる事をやろうよ、と背中を押された思いです。その他にもいろんな話が聞けました。

そして今、私の目の前には、次のような光景が浮かびます。キャンプシュワブの施設が、国民休暇村と変わり、辺野古の浜のフェンスの両側がピースリボンのギャラリーで賑わい、浜では、ふ化した海亀の子供がバタバタと先を争って海に向かい、ジュゴンがゆったりと泳いでいます。

さあ、これを現実のものにするために、仲間と一緒にピースリボンをつくりましょう。もちろん署名活動も！！

(首都圏 佐久間 照子)



2日目、スタッフ数名が高江テント村訪問。  
ツアーパートナーの寄せ書きバナーを渡しました。



## 初参加者からの声



今回初めて、ジュゴンの里ツアーに親子で参加させて頂きました。本当に久しぶりの沖縄で、改めて日本の政治の問題が、全て沖縄にあると強く思う旅で、ツアーの内容もすごく充実して行きたかった所に連れて頂いて感激でした。上の子も改めて色々考える事が出来たと思います。下の子は初めての海が辺野古の美しい海で、すごく贅沢させて頂きました。この美しい海を空を、ジュゴンの里を毎日毎日守り続ける方々がいる事を、絶対に忘れてはいけないし、考えるべきなのは本島の人間だと強く想いました。

愛情の反対は憎しみではなく無関心だと、マザーテレサさんの言葉をいつも考えます、アフガンの人権活動家の女性が、アフガンの為に何かしたいと思うなら日本の方はまず沖縄の方々と連帯するべきだ、と言われていました。ジュゴンの丘に立って、辺野古の美しさに、ここを守らないで何を守る？と子ども達に遺すべきものは、ここででしょう！と強く強く思えるツアーでした。沖縄の美味しいものも頂けて、強く優しい人たちとも会えることが出来て本当にいい経験をさせて頂きました。ありがとうございました。今後も私に出来ることをしていきたいと思います。

3日目  
ヤンバルの森散策(上)  
と芭蕉布工房見学(右)  
自然と文化両方に  
触れるコース



## 第1回ジュゴン連続学習会 「ジュゴンってどんな生きもの？」

5月19日 鳥羽水族館元副館長の浅野四郎さんを招いて「ジュゴン連続学習会 ジュゴンってどんな生き物？」を開催しました。ジュゴンを守るためにには、まずジュゴンをよく知らないなければならない、という趣旨の学習会です。

ジュゴンの長期飼育に世界で初めて成功され、フィリピンのジュゴンやアフリカのマナティーなど、海牛類調査のためのフィールドワークを積み重ねてこられた浅野さんのお話はとても説得力がありました。そして「ジュゴンにとって海草藻場が一番大切。生息環境を守っていれば、フィリピンからの移動してくる能力と可能性だってあるんですよ」とお話を締めくくられました。

海生生物関係の専門学校生も参加されていて、「学校

では海牛類の話はあまりないので、とても貴重なお話でした。」などの感想がありました。

第2回連続学習会は秋に行います。(関西 松島洋介)



浅野四郎さん



# フィリピンリポート ～その3～

## 第2回ジュゴン保護覚書署名国際会議 参加報告 第3弾 —署名国際会議から沖縄ジュゴン保護へ—

2月にフィリピンで開催されたジュゴン保護覚書署名国際会議に参加してきました。レポート1、2で書いたように、会議参加により、沖縄のジュゴンの現状を理解している専門家や、各国の環境担当者と顔の見える形で繋がることができました。最終報告にあたる今号では、会議参加をどう沖縄ジュゴン保護につなげるかを考えます。

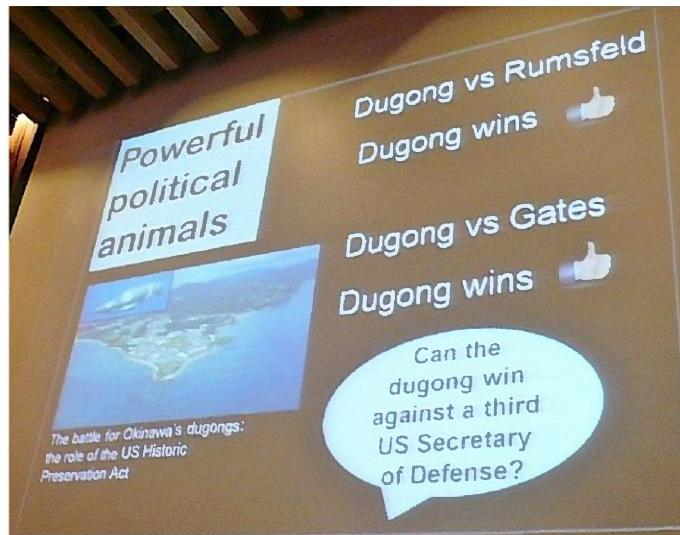
会議参加後、3月31日にSDCC総会で、4月19日に政府交渉（環境省・外務省）で会議の参加報告をしました。環境省の担当者は会議内容に興味を示し、次回の会議参加の明言はもらえなかったものの、会議参加の意義を伝えられたと感じました。

実際のところ、会議に出席し報告するだけでは、具体的な沖縄ジュゴン保護の活動につながりません。しかし、ジュゴンの専門家や保護事例が日本に多くない中、国際的ネットワークを持つことは、具体的な保護策や地域づくりを行う際、選択肢を拡げる重要な情報源になります。そこで、今後もこのネットワークを大切にし、定期的な情報交換をしながら、地元が必要な時に情報提供や専門家の紹介ができるようにしていきたいと思います。

今回は多くの方にカンパをいただき、会議に参加することができました。ありがとうございました。皆さんの想いを大切にしながら、ジュゴンを守り、平和で町の人が幸せに暮らせる地域づくりの具体化に向け、活動を続けていきます。



(関西 正阿彌 (しょうあみ))



アドバイザーのヘレン・マーシュ教授の講演の一部  
沖縄のジュゴン闘争とアメリカでのジュゴン訴訟の話



左から、リポーター、マレーシアの海洋研究者、ジュゴン覚書事務局職員と共に



### ～出張授業～ 未来のジュゴンサポーター♪

5月23日(木) 京都ハ幡市のぶどうの木保育園に『出張授業』に出かけてきました。毎年3泊4日の沖縄平和キャンプを行い、辺野古テント村も訪問する年長さんたち、ジュゴンのこともよく知っていて、とても元気です。

“沖縄県知事を応援するハガキキャンペーン”を呼びかけたら、なんと29枚のハガキが事務所に届きました。ハガキいっぱいに絵を書いて、先生がメッセージを代筆してくれています。これはすごい！模造紙に張り付けて一覧表にし、7月1日の要請・意見書提出の時に直接手渡しました。仲井眞知事さんこの子たちの期待にきっと応えてくれますよね。

7月初めに沖縄を旅した園児たち、思い出いっぱいいつられたかな。出張授業を通じて未来のジュゴンサポーターを増やしていくならとても嬉しいです。

(関西 池側恵美子)



# 『龍宮神』祝賀会 ~こうむ・コラし~

4月12日（旧3月3日）の大潮の日が、平安座島龍宮祭の初日であった。私は島の東海岸にある龍宮神に詣で、藤原書店から本が出版されることを報告し、感謝した。そこからはナンザ岩が近くに見えた。

そしてその翌日。私は久しぶりに家族を連れ、干潮時の海を歩いてナンザ岩に渡った。岩とは言え、「ひょっこりひょうたん島」をさらに小さくしたような小島である。すでに大勢の島人がナンザ岩に列をして上り、鈴なりになっていた。そこで龍宮神に酒を捧げ、歌三線で舞を奉納し、そしてカチャーシーを踊るのであったが、その賑やかさたるや、やはりニライカナイに浮かび「ひょうたん島」そっくりであった。

思い出しても幻想的なまぶしさだが、そこで出会ったのが山根さん、池側さん、吉川さんたち一行であった。「やはり来てくれたのだ」と感激。その後古ぼけた島の実家へ案内し、そして浜比嘉のパワースポットを案内。楽しく、すっかり日が暮れていたことを思い出す。

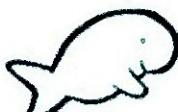
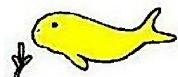
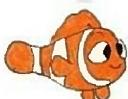
4月28日。京・出雲路の卯庵で行われた「伊都子忌」

に招かれ、歌を歌った。懐かしい岡部伊都子さん。命日は29日だが、昭和の日でなく4・28に偲ぶ会を持つことに意義があった。

その日東京では天皇皇后御臨席の下「主権回復の日」の式典が行われ、沖縄では「屈辱の日」と反発する、抗議の県民大会が開かれていた。突然、「琉球は独立すべきよ！」と岡部さんの声が響いて聞こえた。しかしその前に、ヤマトの「世直し」から先に努力すべきではないのか。私が『卑弥呼コード・龍宮神默示録』の出版を急いだのは、そんな思いからであった。そして予定通りに本は出来上がり、5月8日が出版祝賀会の日となった。

その当日、那覇市国際通りのホテルロイヤルオリオンの会場は満杯。蜷川さんと吉川さん、そして宮古島から佐渡山裕美さんも駆けつけて手伝ってくれた。ライブ演奏と酒と話でかつてのパピリオンが再現され、それは久しぶりに各界各層右左入り乱れての龍宮城であった。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）



おきなわ便り

## ☆沖縄のお盆☆

旧暦の7/15までの3日間です。新暦8/15でお盆をする本土より数週間遅れのお盆となります。我が実家のご先祖様のお迎えとお送りについて話したいと思います。

沖縄方言で初日を「ウンケー（お迎え）」最終日を「ウークイ（お送り）」と呼びます。

ウンケーの日の夕方、仏壇に果物とサトウキビ2本をお供えし、家の門の前でお酒をつぎ、お香とろうそくをつけ、ご先祖様をお迎えします。「ウンケージューシー」と呼ばれるジューシー（焼き込みご飯）を仏壇にお供えし、残りは夕飯に食べます。

ウークイの日は、家族と親戚が全員集合。夕方、仏壇に重

箱を供えて、お香をつけます。

「ウチカビ」と呼ばれるあの世のお金に値する紙を一人一人から「〇〇（名前）から5万グアン」と言いながら、水を入れた洗面器の上で焼きます。「グアン」とはお金の単位で、5万グアン=5万円に相当するそうです。

仏壇のお花や果物、重箱、お歳暮など、のっている物全てをベランダ窓前のテーブルに下ろし、新たにお香をつけます。ご先祖様は、ベランダから、お金とお土産を持って帰ります。ウンケーした門の前に移動し、先程の洗面器、ミンヌク、サトウキビを置きます。お酒をつぎ、お香とろうそくをつけ、ご先祖様をお見送りします。

「ミンヌク」とは、身寄りのない靈に持たせるお土産のことと、天ぷらなどをサイコロの大きさに切ったものです。さとうきびは、ご先祖様が杖として使用するそうです。

私の実家は、道が暗くなつて迷わないようにと19時頃にウークイしますが、ウークイ日の翌日にするところもあります。お盆の方法は地域や家によって違つてあるようです。

（沖縄 仲村）

# INFORMATION

## 琵琶湖博物館で写真展やりま～す！ うみさんぽ 生物多様なジュゴンの棲む海 写真展

写真家の牧志 治（まきし おさむ）さんの写真を中心に、大浦湾の生きものたちと、その海と共に暮らす人々の写真を展示します

会場：滋賀県立琵琶湖博物館

集う・使う・創る 新空間

期間：8/6（火）～9/1（日）

\* JR草津駅下車、西口から近江鉄道バス  
琵琶湖博物館前下車

\* 無料スペースでの展示です。ただし、  
常設展示、企画展示は別途料金がかかります。  
上記期間中の平日は常設展示が無料 です。

[8/13(火)～15(木)は除く]



写真：牧志 治

## 《スケジュール》

【首都圏】☆『風人の祭 2013☆東京』

日時：8月11日（日）14時～19時

会場：お台場・潮風公園

【関西】☆『エコメッセ 2013in ちば』

日 時：9月28日（土）10時～

会 場：幕張メッセ国際会議室会議場



【関西】海の生き物を守る会との共催企画

★第2回ジュゴン連続学習会「ジュゴンの行動と保護～フィリピンと沖縄の調査から～」

日時：10月5日（土）14:00～16:00

場所：大阪市 ドーンセンター セミナー室

講師：向井 宏（海の生き物を守る会 代表）

参加費：1000円

## ジュゴンでトレイン



## 今年もやりました！

ジュゴンをもっと一般の人たちにもアピールするために始めた「ジュゴンでトレイン」。関西名物となったこのイベントも今年で5回目となりました。JR 大阪環状線をぐるりと一周、途中大阪駅、京橋駅、天王寺駅の駅前に降り立ち署名をお願いしました。また拡声器で「今日は海の日です！沖縄のジュゴンは絶滅の危機にあります」とジュゴンの置かれている状況を説明しました。

小雨の降る中での活動で大阪駅前では屋根がないため陸橋の下に移動。あまりアピールすることはできませんでしたが、辺野古に行ったという方など出会いがありました。京橋駅や天王寺駅では屋根の下でアピールできることや、着ぐるみジュゴンも出動できたので、多くの署名を集めることができました。炎天下でなかったことも幸いして、多くの人が立ち止まってくれました。こういう光景を見るたびに、まだまだ日本も捨てたもんじゃない

ないと感じます。また関西以外でも私たちの活動に賛同していただき、日本のみならず海外にも波及して多くの人が地元で「ジュゴンでトレイン」をしていただきました。まさに「ジュゴン保護は世界の流れ」を感じるひとときとなりました。

（関西 上田千鶴）



\*各地でしていただいたアクションの様子は、次号で紹介します☆お楽しみに～♪

## 新署名、ただいま約9000筆★

会員の皆さんをはじめ色々な方から、たくさんの方々が届いています。本当にありがとうございます！目標一万筆に近づいてきましたが、スタッフもまだまだ、がんばって集めていきます（11月に提出予定）。

更なるご協力よろしくお願ひいたします。

**ジュゴンサポーター募集中！**



**Editor's Note** 毎年、じゅごんの里ツアーでお世話になっている、民宿「てるや」さんに石窯が登場！てるやさん手作りの石窯です。朝、焼きたての石窯パンをいただきました。おいしかったです。春には、地域のフェスティバルでパン作り教室を開催されました。修学旅行生も増え、このところ東海岸が活気づいています。基地に頼らない地域づくりが進んでいますね。（山根）

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL. 69 2013年7月23日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-21

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377

○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)

（関西連絡先） 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302

TEL/FAX 06-6353-0514

## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替：

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは：ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084